

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1、参加者：CL 井谷、義間、田村、西 以上4名

2、山城・ルート： 赤岳鉱泉から横岳、硫黄岳

3、交通手段 電車 車 バス

4、行動記録

4月28日（金） 21：15 名谷駅→中央道 上坂SA 仮眠

4月29日（土） 5:30 起床→6:15 出発→7:25 諏訪南出口→8:20 赤岳山荘駐車場着
→10:30 赤岳鉱泉着 テント設営 →18:30 就寝

4月30日（日） 2:30 起床→4:30 スタート→4:55 行者小屋手前(地藏尾根) →
6：20 地藏の頭着→8:00 横岳着 →9:20 硫黄岳着→
10:40 赤岳鉱泉到着 テント撤収→12:00 赤岳鉱泉出発→
14:00 駐車場着→15:00 諏訪湖(入浴) →21:30 神戸着

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

ほぼ予定通り。赤岳登頂は行動時間が長くなるため相談の上中止した。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す
特になし。

C 感想

当初白山を予定していたが、29日の天候が不安定であったため、相談の結果、八ヶ岳に変更した。小屋泊、テント泊とも冬に比べると少なかった。小屋のスタッフからは、「例年に比べると雪がかなり残っており冬山装備で出かけて欲しい」と言われた。途中凍っている箇所が2箇所ほどあったが、ロープを出すこともなく通過できた。硫黄岳は、かなり強風であった。

Tさんは、テント泊デビューであったが、山荘で水も調達でき快適なテント泊となった。Yさん、おいしいご飯と料理、ありがとうございました。楽しかったです。また一緒にください。

❖今回のルートは今季2回目であったが、季節が移ると景色も全く異なることに驚き自然の美しさに感動した。1日目の午後には雪になったが、アタック日は晴れて穏やかな天気になった。稜線から見る赤岳、阿弥陀岳は堂々として見ごたえがあった。また天候悪化による白山からの変更は、出発日の深夜まで皆で相談して決定した。結果と

して良かったと思う。思ったことを何でも言い合えるパーティーであり、状況に応じた柔軟な計画の変更ができることが安全な山行に繋がるのではないかと思った。経験があつてこそ、ともいえるのかもしれないが、初心者でも出来ることはあるはずで普段からの勉強は欠かせないと感じた。(義間)

雪の中のテント泊は予想以上に快適でした。4人で過ごすテントの中はもっと狭いものかと思ってましたが、窮屈感もなかったのは何故でしょう。美味しい山ご飯も頂けたし、荷物のまとめ方や手際の良い片づけ方など実践で体験しないとわからないことも沢山あり色々学べた2泊3日でした。(田村)





(硫黄岳頂上)

報告者氏名 西 2017年5月7日